

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代男性)ありました。症状はありません。感染地域、及び感染経路は不明です。本年の累積報告数は42例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(50歳代男性)(第37週追加報告分)ありました。症状は腹膜炎、菌血症、敗血症です。本年の累積報告数は30例となりました。
- ・ 水痘(入院例)の報告が1例(20歳代女性)(第37週追加報告分)ありました。症状は発熱、発疹、髄膜脳炎です。感染地域、及び感染経路は不明です。本年の累積報告数は7例となりました。
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代男性)(第37週追加報告分)あり、症状は初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は48例となりました。
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html
京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を匿名で実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>
- ・ 百日咳の報告が1例(10歳未満女性1例)ありました。症状は持続する咳、夜間の咳き込みです。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は89例となりました。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、0.72(50例)と徐々に報告数が増え始めています。

◆ 今週のトピックス: <眼科定点把握対象疾患>

急性出血性結膜炎及び流行性角結膜炎は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における五類定点把握疾患に指定されており、本市では10箇所の眼科定点から毎週、患者数が報告されています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 225例(肺結核 98例, その他結核56例, 潜在性結核感染者 71例)うち喀痰塗抹陽性 47例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 42例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 30例】
- ・ 五類: 水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 48例】
- ・ 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 89例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.72	50
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.70	116
	② RSウイルス感染症	2.12	91
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	43
	③ 手足口病	1.00	43
	⑤ 伝染性紅斑	0.72	31
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

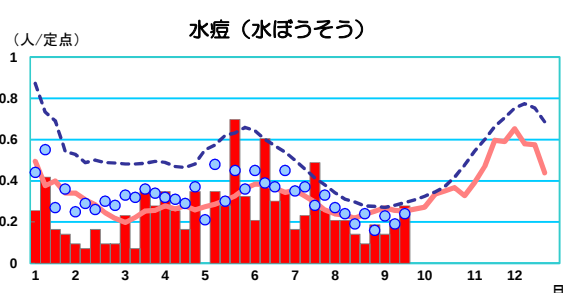
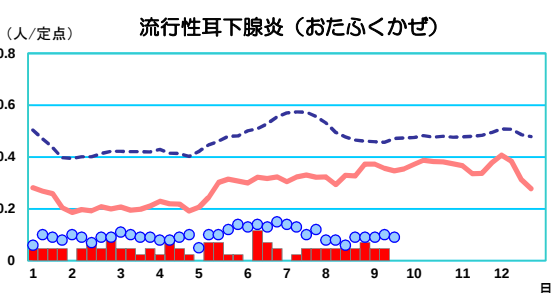
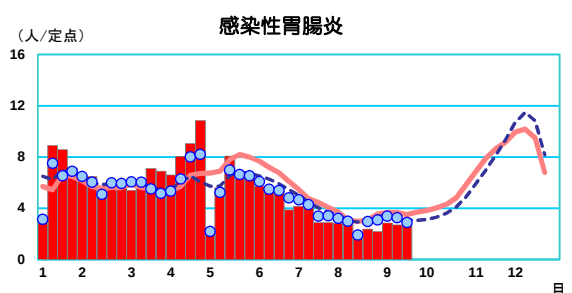
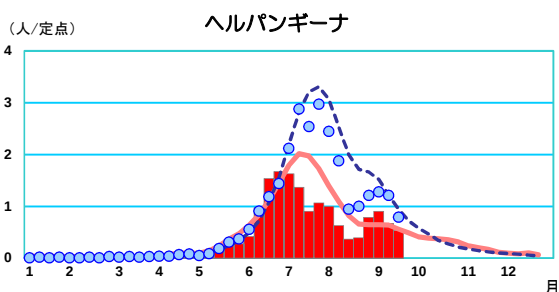
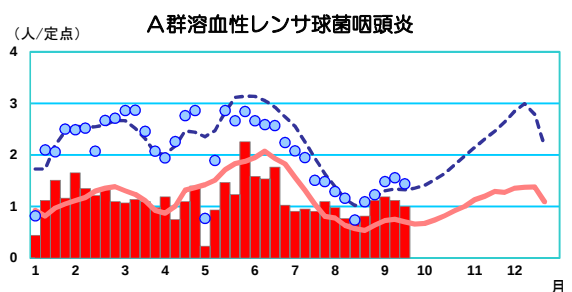
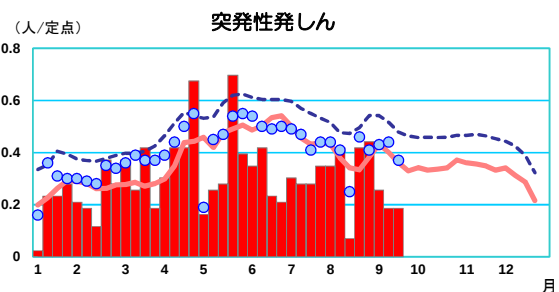
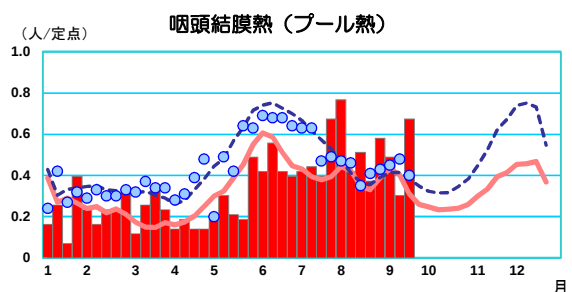
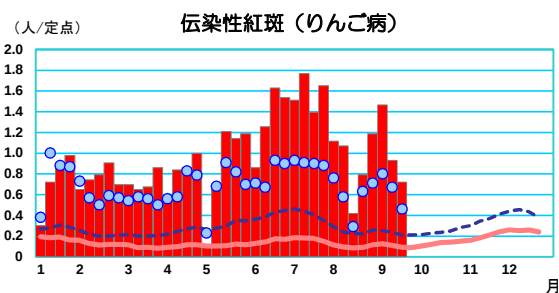
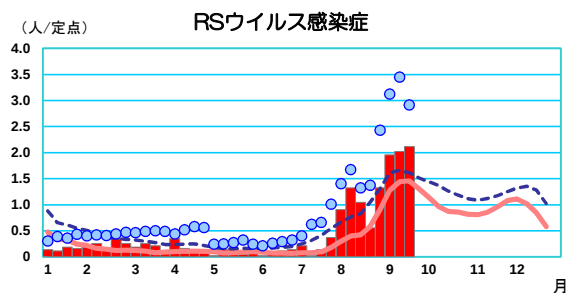
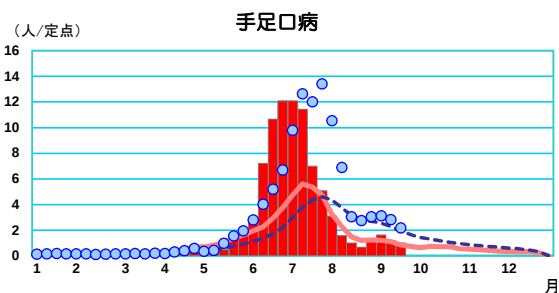
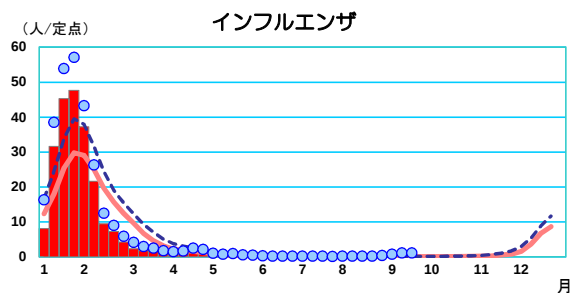
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <眼科定点把握対象疾患>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年9月25日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第38週(9月16日～9月22日)トピックス: <眼科定点把握対象疾患>

急性出血性結膜炎及び流行性角結膜炎は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における五類定点把握疾患に指定されており、本市では10箇所の眼科定点から毎週、患者数が報告されています。急性出血性結膜炎の過去10年間の年間報告数は0～10人で、今年も昨年に引き続き、第38週まで報告はありません(表1)。

一方、流行性角結膜炎の過去10年間の年間報告数は、年によって多少の変動はあるものの、約200～300人台で推移しています(表1)。過去5年平均値から季節変動をみると、夏から秋にかけて、若干、報告数が多くなっており、本年も同様の傾向であることから、1年のうちで今が最も感染リスクの高い状態といえます(図1)。

急性出血性結膜炎は激しい出血を伴います。また、流行性角結膜炎は、周囲への感染力が強く、目の充血、目やになどの症状を伴います。両疾患ともに、ウイルスを原因とする疾患で、特効薬はなく、対症療法となります。ともに感染経路は接触感染で、予防方法は以下のとおりです。万一感染した場合、家族や周囲の人にうつさないように注意しましょう。

- ・流水と石けんで手をよく洗う。
- ・タオルや顔などに触れるものは、個人用とする。
- ・目やに等、目を拭く場合は、ハンカチやタオルではなく、ティッシュペーパーなど使い捨てのもので拭き取り、すぐに捨てる。

10月10日は「目の愛護デー(※)」です。目の感染症について、再認識しましょう。

(※) 「目の愛護デー」

1931年、中央盲人福祉協会の提唱により失明予防の運動として、10月10日を「視力保存デー」と定め、内務省及び文部省の後援で毎年活動を始めました。その後、1938年に日本眼科医会の申し出により、9月18日が「目の記念日」として改められました。戦時中、一時活動は中止されていましたが、1947年に中央盲人福祉協会が再び10月10日を「目の愛護デー」と定め、現在、厚生労働省が主催となって、全国で目の健康に関わる活動が進められています。

京都市では、令和元年10月14日(日)に「令和元年度「目の愛護デー・京都」」として、無料で目の健康相談等を行います。詳細については、下記URLを御覧ください。

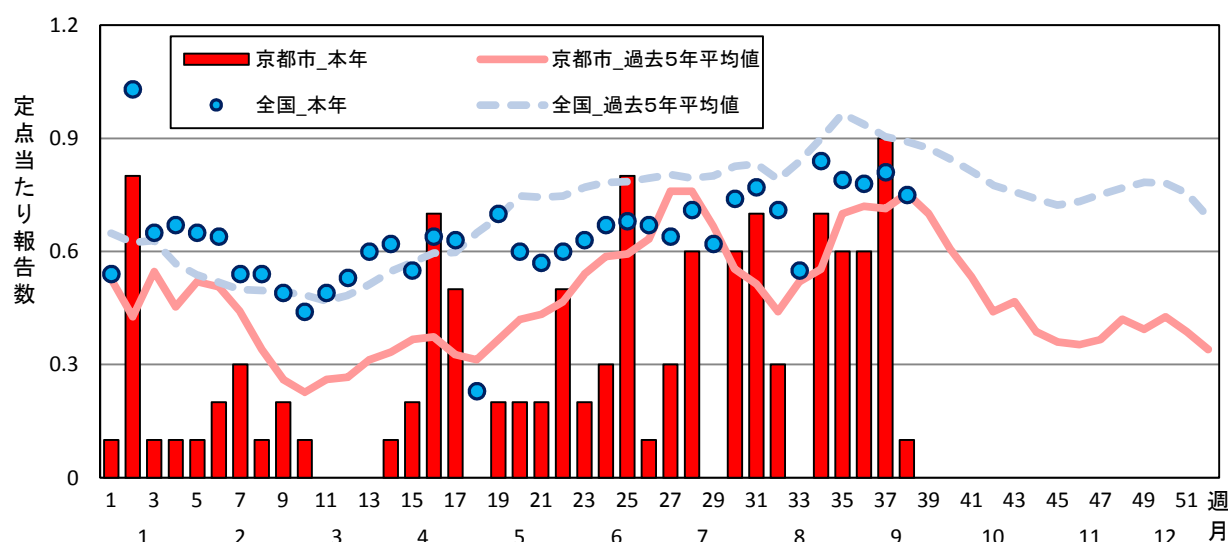
○令和元年度「目の愛護デー・京都」

<https://kenkochoju.kyoto/event/?act=detail&id=2268>

(表1)京都市の眼科定点把握疾患報告数の推移

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (第38週まで)
急性出血性結膜炎	4	1	10	3	1	7	3	1	2	0	0
流行性角結膜炎	250	263	293	269	338	375	205	157	255	237	115

(図1)流行性角結膜炎の京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第38週

疾病,行政区別報告数

2019年9月16日～2019年9月22日

データ入手日:2019年9月25日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性結 膜炎	流行性角結膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	5	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
上京	2	2	-	2	4	-	-	2	2	1	-	-	1					
左京	8	21	-	3	3	4	7	1	1	-	-	-	-					
中京	5	4	3	2	3	1	5	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3	7	14	-	-	1	-	-	-	-	-							
山科	2	15	4	2	3	4	11	5	-	3	-	-	-					
下京	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
南	1	-	-	3	2	-	4	2	-	2	-							
右京	15	15	2	18	16	1	7	4	3	2	-	-	-					
伏見	5	19	4	11	58	1	3	16	2	9	-	-	-					
西京	2	5	2	1	26	-	6	-	-	1	-	-	-					
京都市計	50	91	29	43	116	12	43	31	8	23	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性結 膜炎	流行性角結膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	0.71	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-					
上京	0.40	0.67	-	0.67	1.33	-	-	0.67	0.67	0.33	-	-	1.00					
左京	1.14	5.25	-	0.75	0.75	1.00	1.75	0.25	0.25	-	-	-	-					
中京	1.00	1.33	1.00	0.67	1.00	0.33	1.67	0.33	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.00	3.50	7.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-							
山科	0.29	3.00	0.80	0.40	0.60	0.80	2.20	1.00	-	0.60	-	-	-					
下京	0.67	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-							
南	0.20	-	-	1.00	0.67	-	1.33	0.67	-	0.67	-							
右京	1.88	3.00	0.40	3.60	3.20	0.20	1.40	0.80	0.60	0.40	-	-	-					
伏見	0.45	2.71	0.57	1.57	8.29	0.14	0.43	2.29	0.29	1.29	-	-	-					
西京	0.25	1.00	0.40	0.20	5.20	-	1.20	-	-	0.20	-	-	-					
京都市計	0.72	2.12	0.67	1.00	2.70	0.28	1.00	0.72	0.19	0.53	-	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第38週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年9月16日～2019年9月22日

データ入手日:2019年9月25日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	50	-	1	3	2	-	4	2	3	10	3	1	5	2	3	1	7	-	1	1	1
RSウイルス感染症	年齢3	91	22	14	31	18	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		29	-	3	6	2	3	5	2	3	1	-	1	1	1	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		43	1	-	3	2	4	4	3	2	9	3	3	7	-	2						
感染性胃腸炎		116	2	7	19	9	10	7	6	8	7	4	5	18	4	10						
水痘		12	-	-	1	1	-	-	1	2	1	2	2	1	-	1						
手足口病		43	1	1	5	6	10	6	6	5	-	1	1	1	-	-						
伝染性紅斑		31	-	1	2	1	5	5	6	3	2	2	1	2	-	1						
突発性発しん		8	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		23	-	4	5	7	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.72	-	0.01	0.04	0.03	-	0.06	0.03	0.04	0.14	0.04	0.01	0.07	0.03	0.04	0.01	0.10	-	0.01	0.01	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	2.12	0.51	0.33	0.72	0.42	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		0.67	-	0.07	0.14	0.05	0.07	0.12	0.05	0.07	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.02						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	0.02	-	0.07	0.05	0.09	0.09	0.07	0.05	0.21	0.07	0.07	0.16	-	0.05						
感染性胃腸炎		2.70	0.05	0.16	0.44	0.21	0.23	0.16	0.14	0.19	0.16	0.09	0.12	0.42	0.09	0.23						
水痘		0.28	-	-	0.02	0.02	-	-	0.02	0.05	0.02	0.05	0.05	0.02	-	0.02						
手足口病		1.00	0.02	0.02	0.12	0.14	0.23	0.14	0.14	0.12	-	0.02	0.02	0.02	-	-						
伝染性紅斑		0.72	-	0.02	0.05	0.02	0.12	0.12	0.14	0.07	0.05	0.05	0.02	0.05	-	0.02						
突発性発しん		0.19	-	0.07	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.53	-	0.09	0.12	0.16	0.07	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第38週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年9月25日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	10	5	6	46	50	50
RSウイルス感染症	45	24	57	84	87	91
咽頭結膜熱	22	16	25	21	13	29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	35	48	51	48	43
感染性胃腸炎	73	102	94	123	116	116
水痘	6	4	8	6	9	12
手足口病	43	29	47	70	50	43
伝染性紅斑	18	34	51	63	40	31
突発性発しん	3	18	19	11	8	8
ヘルパンギーナ	16	17	34	39	29	23
流行性耳下腺炎	2	2	3	2	2	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	7	6	6	9	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	269	293	398	522	461	447

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.14	0.07	0.09	0.67	0.72	0.72
RSウイルス感染症	1.05	0.56	1.33	1.95	2.02	2.12
咽頭結膜熱	0.51	0.37	0.58	0.49	0.30	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	0.81	1.12	1.19	1.12	1.00
感染性胃腸炎	1.70	2.37	2.19	2.86	2.70	2.70
水痘	0.14	0.09	0.19	0.14	0.21	0.28
手足口病	1.00	0.67	1.09	1.63	1.16	1.00
伝染性紅斑	0.42	0.79	1.19	1.47	0.93	0.72
突発性発しん	0.07	0.42	0.44	0.26	0.19	0.19
ヘルパンギーナ	0.37	0.40	0.79	0.91	0.67	0.53
流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.07	0.05	0.05	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.70	0.60	0.60	0.90	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	6.17	7.31	9.66	12.20	10.97	10.03

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。